

経営比較分析表（令和6年度決算）

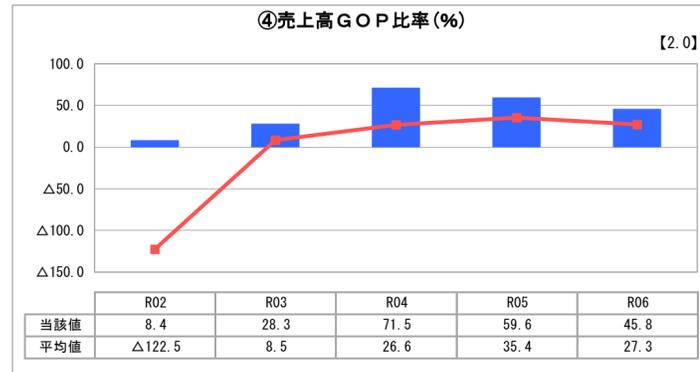
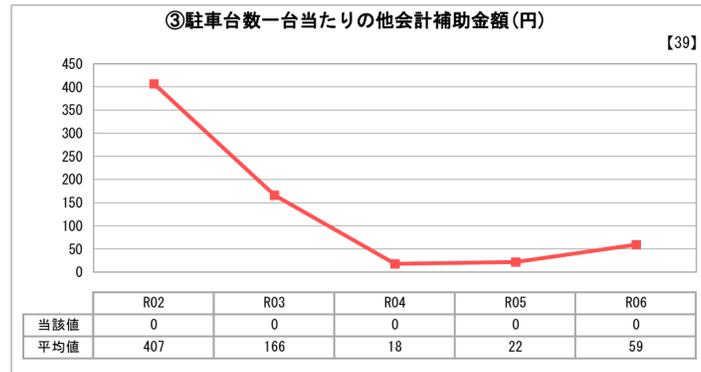
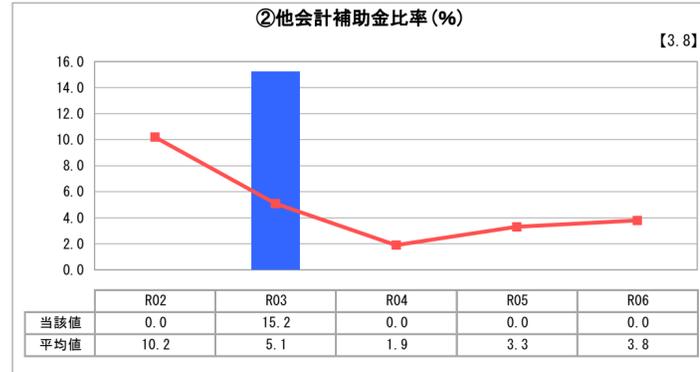
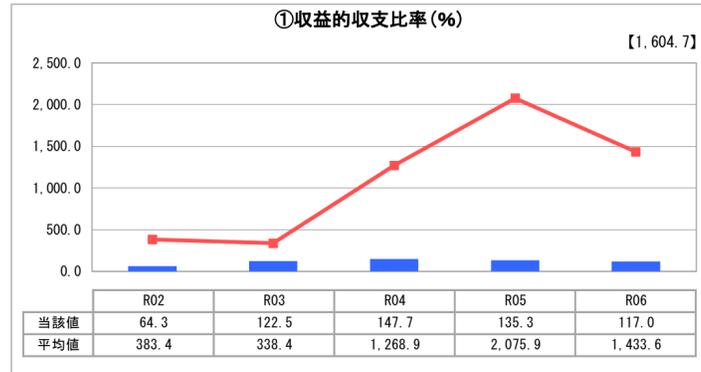
岐阜県瑞浪市 瑞浪市駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	20	

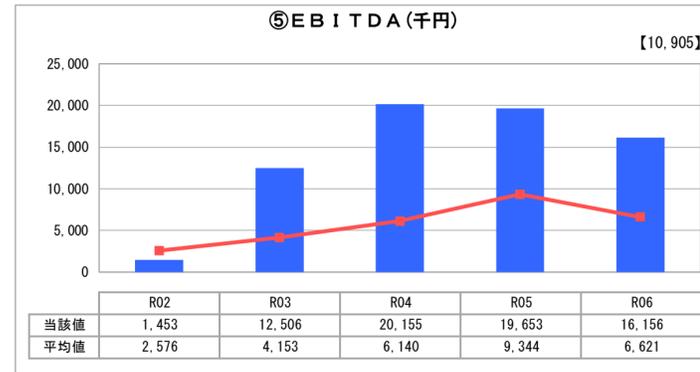
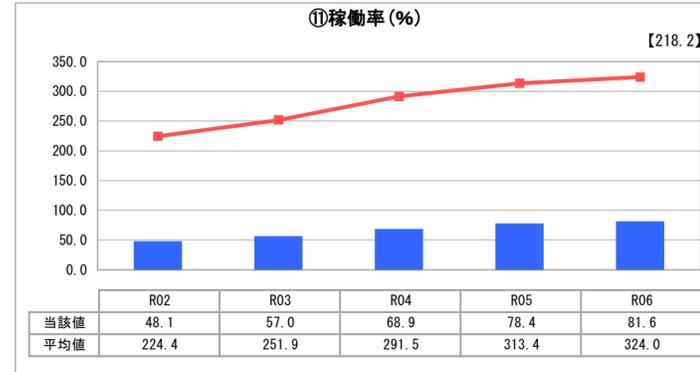
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	10,200
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
370	25	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

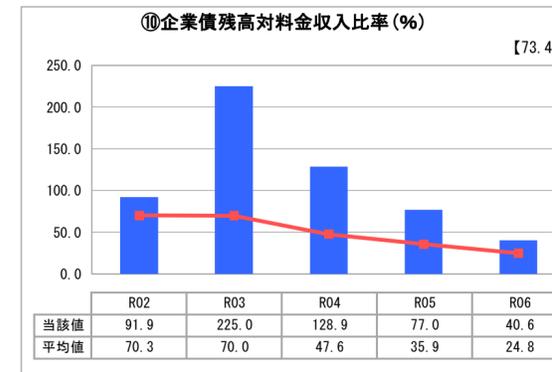
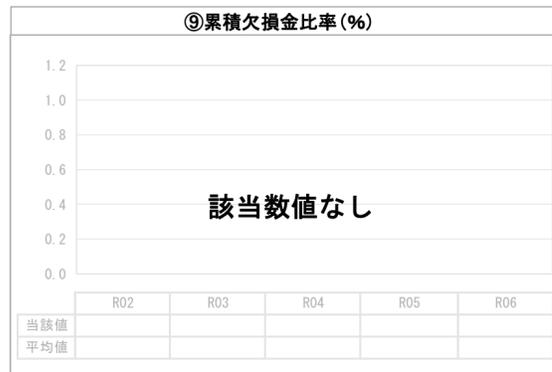


⑦敷地の地価(千円)

243,953

⑧設備投資見込額(千円)

24,500



分析欄

1. 収益等の状況について

①『収益的収支比率』は100%を上回っており、事業に要する経費を収益で賄えている状況にあるものの、類似施設及び全国平均値と比較すると大きく下回っている。一方で④『売上高GOP比率』及び⑤『EBITDA』については、類似施設及び全国平均値を大きく上回っており、これら3指標から収益率は高く、事業運営は安定している。今後、利用率向上等による収益性の向上を検討するとともに、引き続き効率的な事業運営に努めていく。

*左記グラフ数値について、下記のとおり訂正します。

【令和3年度】

③駐車台数一台当たりの他会計補助金額

誤：0 → 正：40

④売上高GOP比率

誤：28.3 → 正：71.7

【令和5年度】

①稼働率

誤：78.4 → 正77.3

2. 資産等の状況について

供用開始から20年が経過しており、計画的な修繕及び施設更新への対応が必要な状況にある。一方、企業債の償還については令和9年度をもって終了するため、今後は施設の状態や企業債償還の状況を踏まえつつ、適切な資産管理のもと、安定的な事業運営を継続していく。

3. 利用の状況について

①『稼働率』については、類似施設及び全国平均値を下回っている状況にある。これは、主な利用者が通勤・通学者であり、長時間利用が中心となっていることから、時間当たりの回転率が低く、結果として稼働率が伸びにくい構造となっていることが要因であると考えられる。稼働率の数値自体は低い水準にあるものの、一定の利用需要は確保されており、事業の安定的な利用状況は維持されている。

全体総括

収益性の面で一定の水準を確保しており、概ね安定した事業運営を行っている。一方、施設は供用開始から一定期間が経過しており、今後の修繕及び更新を見据えた対応が必要な状況である。また、隣接地において複合公共施設の整備を計画しており、将来的な利用需要の変化を踏まえた施設整備及び運営が求められる。今後、既存施設の維持管理と駐車場の拡張工事等を適切に進めるとともに、事業全体の効率性及び安定性の確保に努めていく。

経営比較分析表（令和6年度決算）

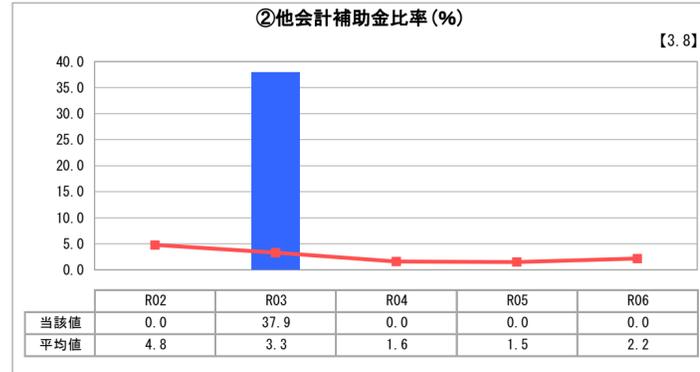
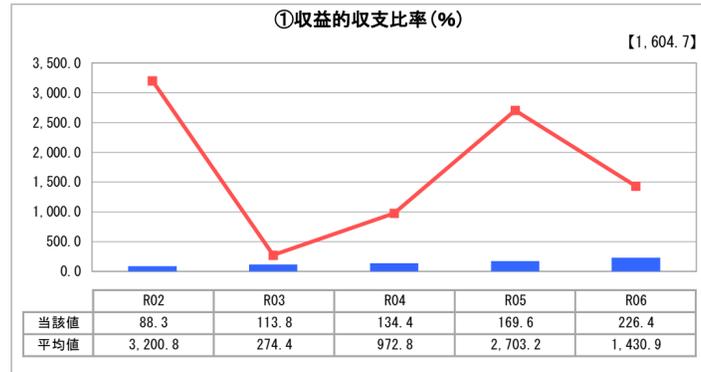
岐阜県瑞浪市 瑞浪市浪花駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	42	

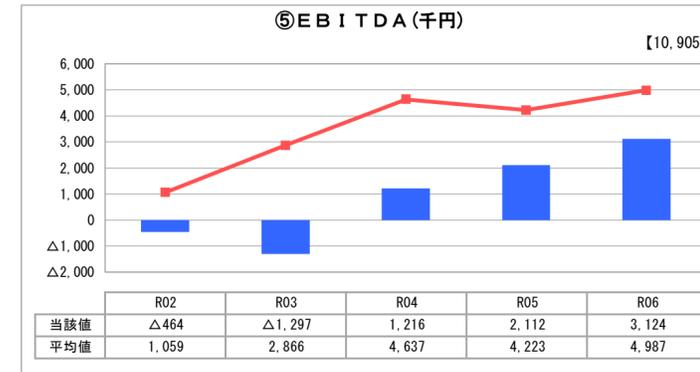
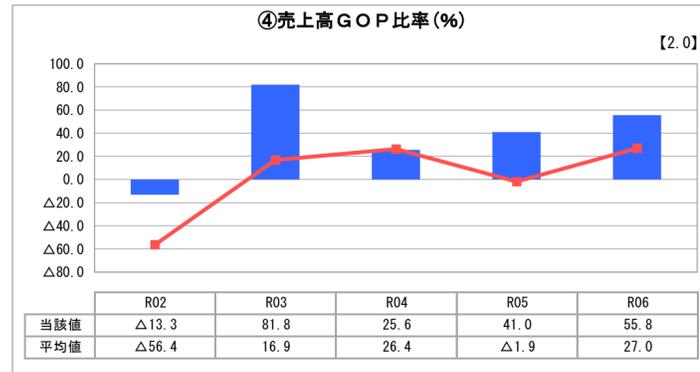
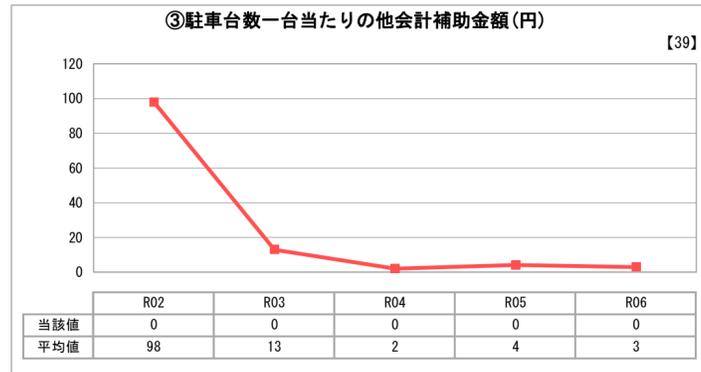
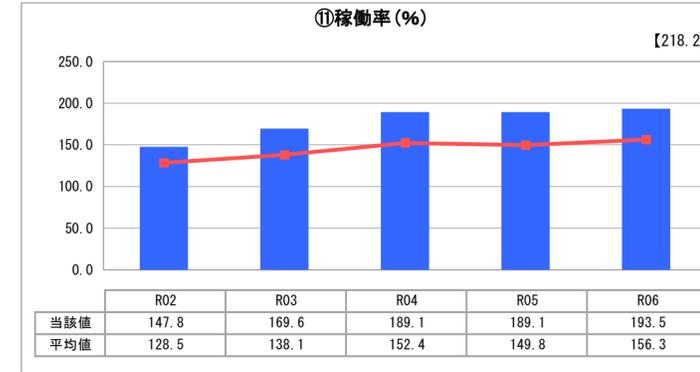
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	1,672
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
46	25	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

①『収益的収支比率』、④『売上高GOP比率』及び⑤『EBITDA』については、前年度比で数値が上昇している。新型コロナウイルス感染症の影響からの回復により、駐車場利用者が増加したことが主な要因と考えられる。②『他会計補助金比率』、③『駐車台数一台当たりの他会計補助金額』については、令和4年度以降は一般会計からの繰入はなく、安定的な事業運営を行っている。

*左記グラフ数値について、下記のとおり訂正します。

【令和3年度】

③駐車台数一台当たりの他会計補助金額

誤：0→正：72

【令和5年度】

⑪稼働率

誤：189.1→正187.0

2. 資産等の状況について

供用開始から42年が経過しており、老朽化の進行が見られることから計画的な修繕及び施設更新への対応が必要な状況にある。一方、企業債の償還については令和9年度をもって終了するため、今後は施設の状態や企業債償還の状況を踏まえつつ、適切な資産管理のもと、安定的な事業運営を継続していく。

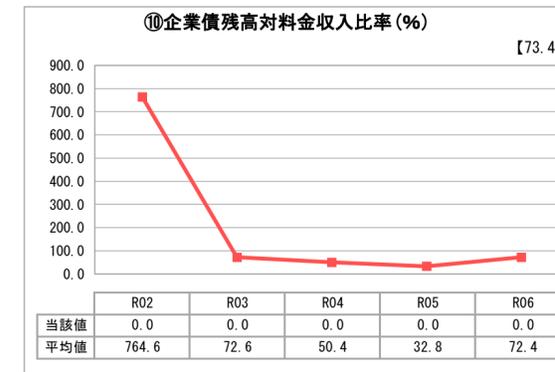
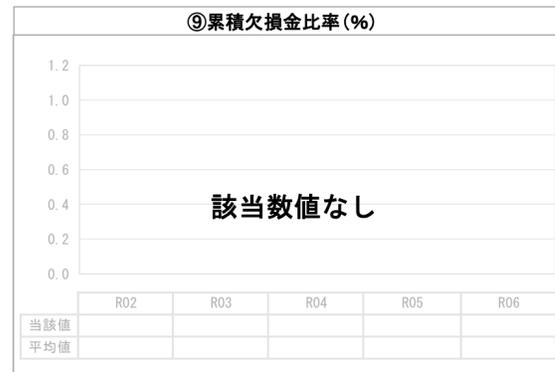
3. 利用の状況について

当該施設は、周辺商業施設や駅利用者の駐車場としての利用が定着していることから、類似施設平均値との比較においても、適正な稼働率を維持しているといえる。

2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	88,345
⑧設備投資見込額(千円)	9,500



全体総括

令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、利用台数・料金収入が増加している。今後も、収支のバランスを取りながら、安全性や利便性の向上のため、老朽化する設備機器等の更新について対応を検討していく。